

**2015(平成27)年度～2017(平成29)年度
各教区・沖縄県宗務特別区 重点プロジェクト(実践目標) 一覧**

	教区・特区	実践目標
1	北海道	災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援
2	東北	(1)東日本大震災における被災寺院の支援及び被災者の支援 (2)お寺とのご縁づくり
3	東京	寺院活動の広角展開：自他ともによるこびを分かち合える環境づくり
4	長野	災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援
5	国府	日常の寺院活動：阿弥陀さまの智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる御同朋の社会の実現をめざし、門信徒・住職・坊守・僧侶・寺族・地域住民が互いに協力し、全寺院で報恩講を修行するとともに、各地域において法座活動に努める
6	新潟	み教えに生き、広がるご縁
7	富山	「ともに ーいのち かがやく 世界へー」
8	高岡	同朋教団の再生をめざして：念仏のところに生きる生活を
9	石川	(1)災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援 (2)日常の寺院活動：各種教化組織の活性化と社会的課題を共有する寺院へ
10	福井	み教えに学ぶ
11	岐阜	「信心の社会性」～念仏者として生きる～
12	東海	(1)同朋運動の推進 (2)寺院活動の推進
13	滋賀	日常の寺院活動：地域と寺院のつながりを大切にする
14	京都	(1)災害支援：防災と災害支援 (2)研 修：自信教人信 (3)日常の寺院活動：寺院・組からのご縁づくり
15	奈良	(1)災害支援：さまざまな災害による被災者支援 (2)日常の寺院活動：寺院の活性化(全員聞法・全員伝道の推進) (3)同朋教団の確立：差別・被差別からの解放
16	大阪	葬送儀礼：浄土真宗における葬儀の本来化とその形を創りだし、仏縁によって人がつながる葬儀を提唱し、本当の宗教の必要性とはたらきを明らかにしていく
17	和歌山	次世代を担う人の育成

18	兵庫	災害対応：「いざ」という時のために
19	山陰	日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする
20	四州	日常の寺院活動：寺院活動を活性化し、布教伝道、教化活動、法要儀式を通じて、寺院、僧侶、門信徒を含む人と人とのつながりを育成する。
21	備後	(1)門信徒と僧侶が一体となって浄土真宗のみ教えを広める (2)現代の伝道の在り方を工夫し、実践する (3)念仏者としての非戦平和の活動を進め、その思いを伝える
22	安芸	(1)日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする<門信徒と僧侶との課題の共有> (2)いのちの尊厳を脅かす問題への取り組み (3)災害支援活動
23	山口	日常の寺院活動～開かれたお寺にしよう！～
24	北豊	寺院活動推進：僧侶と門信徒の課題の共有
25	福岡	(1)災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援 (2)「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の拠りどころを確かめよう
26	大分	お念仏のこころを伝えあう：さまざまな活動を通してご縁を広げ、ひとりでも多くの方々に念仏のこころを伝えていく
27	佐賀	(1)災害支援と環境問題：災害・環境の問題に積極的に取り組む。 (2)平和と差別問題：部落差別をはじめ、さまざまな人権・差別の問題並びに、非戦・平和の重要性を確認し、ヤスクニ問題などに積極的に取り組む。 (3)葬送儀礼と伝道の強化：葬送の現代における意義の確立に取り組み、「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」に応える教学の研鑽を深める。
28	長崎	(1)平和問題：安穏な社会の実現をめざして (2)環境問題：エネルギーや物を大切にする心を学ぶ
29	熊本	災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援
30	宮崎	日常の寺院活動：苦悩を抱える人々の居場所づくり
31	鹿児島	日常の寺院活動： ①「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の理念の浸透 ②「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の充実 ③多くの方との「ご縁づくり」の推進
32	沖縄	(1)日常の寺院活動：葬儀・法事をはじめ、法座や寺院の各種法要行事等を通して、積極的に寺院にご縁のない方々に対し朋友の輪を広げる。また次世代につなぐ活動を行う。 (2)非戦・平和：過去の歴史から学び、自他共に心豊かに生きる平和な社会の実現を目指す